

北海道医師会の取り組み

— 医師キャリアサポート相談窓口事業について —



北海道医師会 常任理事

長谷部 千登美 (医療関連事業部副部長)

1

2021年度 医療関連事業部事業項目

1. 勤務医への支援

- (1) 勤務医ならびに若手医師の医師会活動への参加促進
- (2) 勤務医部会の運営
- (3) 勤務医懇談会の開催

2. 医師の就労環境改善・働き方改革等の推進

- (1) 医師キャリアサポート相談窓口事業の充実
- (2) 医師の仕事と家庭の両立支援
- (3) 医学生、研修医等のサポート事業の推進
- (4) 就労環境改善事業の推進
- (5) 日医および北海道女性医師バンクへの協力
- (6) 日医女性医師支援センター事業への協力
- (7) 北海道医療勤務環境改善支援センターとの連携・協力
- (8) 北海道地域医師連携支援センターとの連携・協力

3. 医療関連専門職種団体への協力と連携

- (1) 医療・福祉関係職能団体等との意見交換会の開催
- (2) 医師事務作業補助者の育成
- (3) 医療・介護従事者の感染予防講座の開催
- (4) 看護職員の養成と確保への支援と協力
- (5) 看護の日・看護週間への支援と協力

4. 医師会立看護職員養成施設への支援と協力

- (1) 医師会立看護職員養成校連絡協議会の開催

2

女性医師等支援相談窓口事業

女性医師等支援事業は、北海道の補助金を受けて、2011年6月15日に相談窓口事業を開始

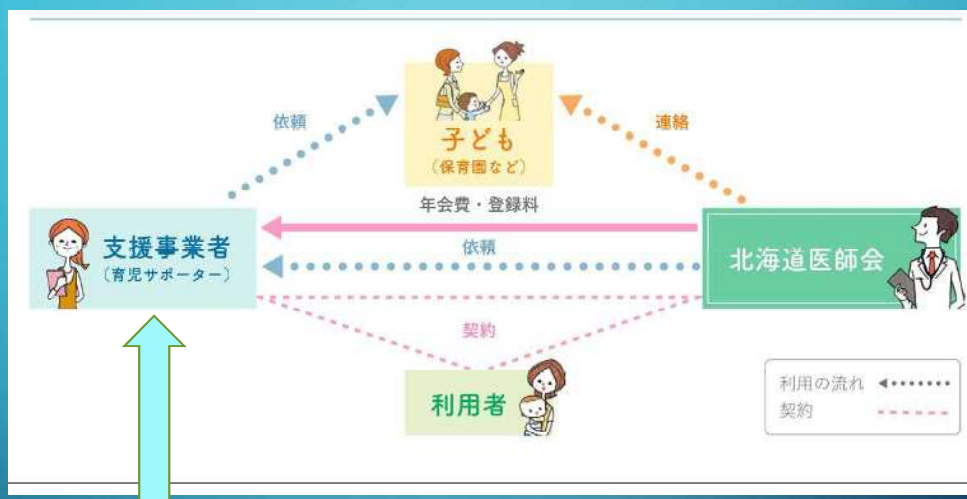


事業の柱

1. 育児サポート事業
2. 復職サポート事業
3. 相談窓口事業

3

1. 育児サポート事業の仕組み



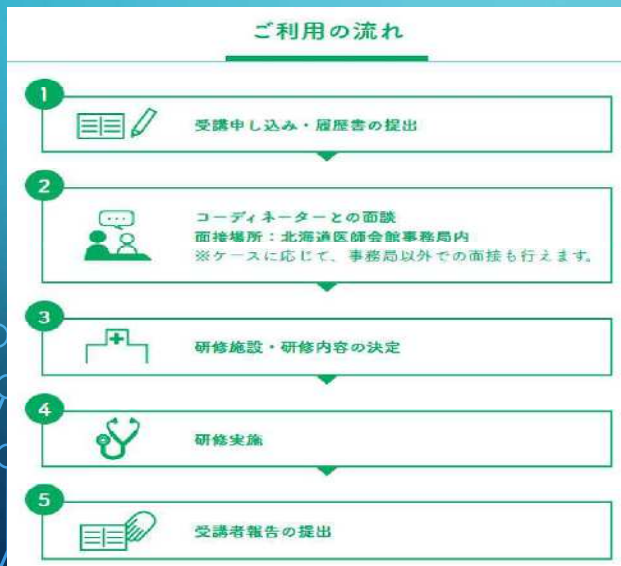
札幌市こども緊急サポートネットワーク(札幌市ファミリー・サポート・センター事業)等の行政事業を運営しているNPO法人(直接契約して、緊急さぼねっと事業と同様の援助)

現在の登録人数: 119名

4

2. 復職サポート事業の仕組み

身近な地域の医療機関において指導医のもとで復職研修が受けられるよう、**復職研修受入医療機関に委託**し復職研修を実施し、潜在化した女性医師等に復職研修を受ける機会を与えることによって**職場復帰を促し**、もって**地域の医師不足対策に資する**ことを目的とする



27名復職、2名研修中

<北海道医師会の役割>

医療機関の求人情報の提供

再就職先の紹介

(雇用関係の成立までを支援)

無料職業紹介事業

5

3. 相談窓口事業



2011年 女性医師等支援相談窓口として開設



2019年 医師キャリアサポート相談窓口に名称変更

- 育児・復職研修支援、無料職業紹介については継続
- キャリア相談、医師が働きやすい環境の整備、定年退職後の医師の雇用継続などについて対応

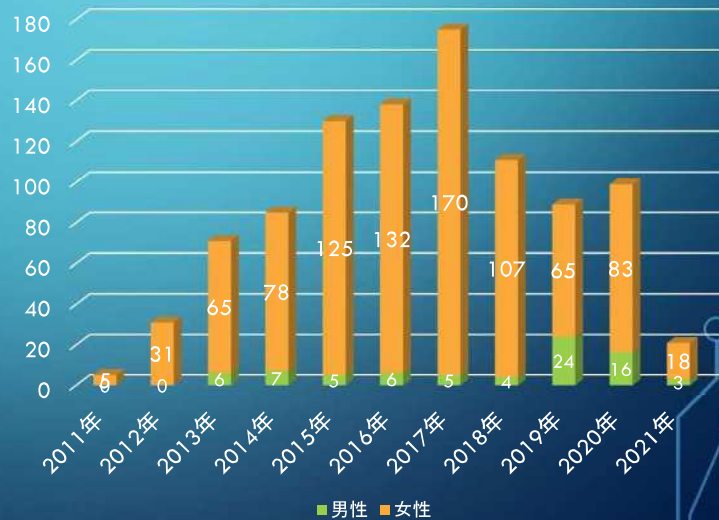
6

相談件数は横ばい傾向 相談内容に変化が...

相談したいのは
女性医師だけ
ではない！



総相談件数955件



(2011年6月15日開設以降 2021年10月30日現在) 7

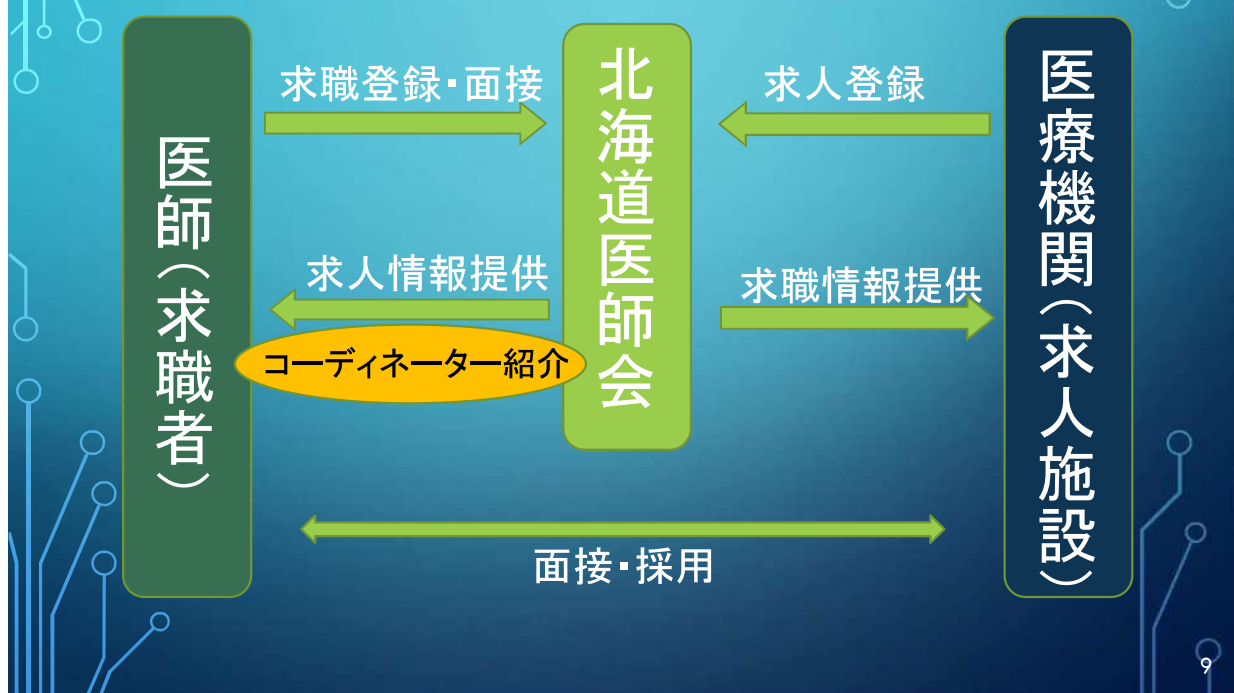
ドクターバンクの状況報告

(無料職業紹介事業)

復職・就職希望者に対し、医療機関の
求人情報の提供と復職研修終了後の
再就職先の紹介に加えて、雇用関係の
成立までを支援する

2014年に厚労大臣から開設許可

無料職業紹介事業



コーディネーター(20名)について

性別	男性:6名、女性:14名
北海道医師会	役員:5名
勤務形態	開業:9名 一般病院勤務:6名 大学病院勤務:5名
勤務地	札幌:10名、旭川:3名、函館:2名 小樽:2名、岩見沢:1名、釧路:2名
専門診療科	内科:7名、産婦人科:3名、精神科:2名 整形外科:1名、小児科:1名、皮膚科:2名、 耳鼻咽喉科:1名、泌尿器科:2名、 基礎(解剖):1名

無料職業紹介事業の実績



11

無料職業紹介事業の相談ケース

ケース(1)

体調不良のため本年6月末日で勤務先を退職した外科学会認定医。
体調復帰後、セカンドキャリアとして週3~4日の非常勤で10月以降に復帰したい。
[66歳、男性医師]



老健施設、療養型病院を視野に入れ、体調復帰後の身体に負担のかからない勤務先を探すこととした。

ケース(2)

栃木県在住の小児科医。夫の転勤に伴い、2022年4月から道内で勤務の予定。2歳の子どもがいるので、保育所入所の申込み手続きの関係で今から勤務先と自宅を決めたい。[女性医師]



相談者の専攻であるクリニックを紹介し、コロナ禍において、来道しての面接が難しいことから、リモート面談を行うこととした。

12

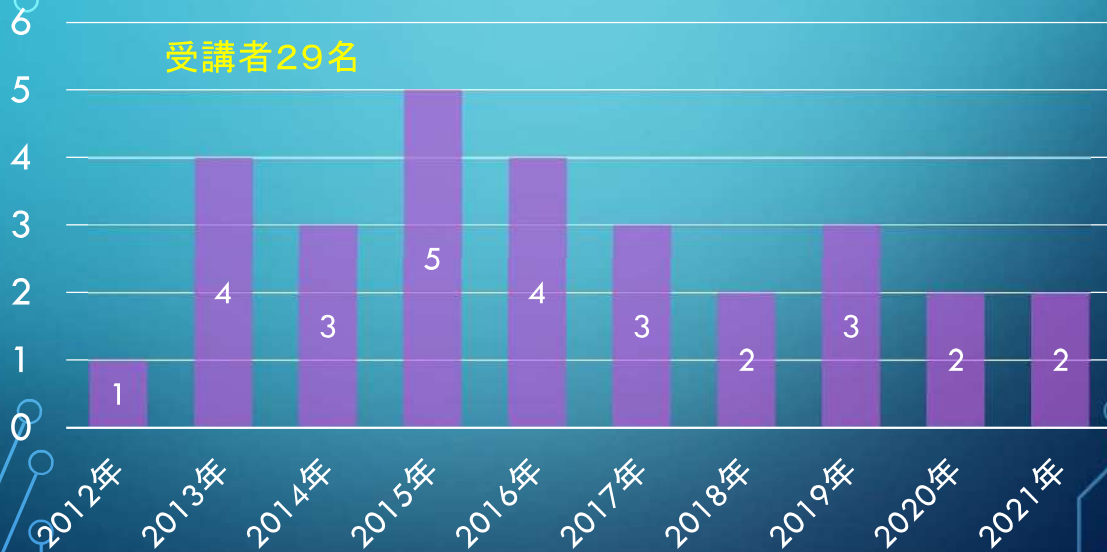
復職・再研修支援体制について

13

復職サポート事業受講状況

復職を目指し研修を希望する医師が、より身近な地域の医療機関において指導医の下で研修が受けられるよう、復職研修受け入れ医療機関に委託する事業。

受講者29名



(2012年6月事業開始以降 2021年7月12日現在)

14

復職サポート事業受講状況

地域	診療科	受講時の状況	終了後
夕張市	総合診療	卒後の研修から22年間のブランクがあり、基礎的なトレーニングが必要であった	常勤勤務
札幌市	消化器外科	育児のため臨床から離れ7年間の休職期間があった	常勤勤務
札幌市	総合内科	出産のため後期研修を中断、その後22年間専業主婦休業であったが、臨床医となるため受講	2021年5月受講開始、研修中
札幌市	児童精神	産婦人科専門医を取得後、海外留学し結婚、出産、育児と研究職を続けていたが、新しいことに挑戦したいと臨床に戻ることを希望	2021年8月受講開始、研修中

15

相談窓口業務における最近の動向

- 育児サポート相談の減少
- 相談内容の多様化
- 働き方改革の効果・・・職場環境の整備
- 男性医師・高齢医師からの相談増加

相談窓口業務は、
医師のセーフティネットとして重要

16

まとめ

北海道医師会は、広い範囲を網羅して多くの求人登録がある日医女性医師バンクと密に連携し、「顔の見える地域のコーディネート機能」体制を確立することをめざして、活動していきます。

